

## 慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG コンソーシアムのご案内

慶應義塾大学 SFC 研究所では、持続可能な社会を実現し、多様で複雑な社会における問題解決を行うため、2017年10月にxSDG・ラボ（エックスエスディージーラボ）、2018年6月に「xSDG コンソーシアム」を設立しました。研究期間2年度目である2019年度は、未来に向けたビジョンを共有し、協働する仲間である企業や自治体といったステークホルダーのみなさまと研究者とのコラボレーションにより、SDGs 目標達成へむけた先進事例や優良事例を作り、これを日本から世界に発信し、スケールアップを目指しています。

\* xSDG コンソーシアムでは、未来に向けたビジョンを共有し、協働する仲間(会員)を「Vision Sharing Partner(VSP)」と呼称します。

### ■ 目的

SDGs 達成へ向けたアクションの優良事例の創出を行い、これを通じた知的基盤を構築する

### ■ 活動内容

#### 1) コンソーシアム・ミーティングで、アイデアの創発

全体会合となる「コンソーシアム・ミーティング」において、毎回テーマに沿った有識者による専門的知識の提供や、関係省庁関係者による最新の政策動向を基にした議論・意見交換・ワークショップ等の実施をつうじて、SDGs 的アクションのあり方を検討します。結果に応じて、課題別分科会を創出します。また、SDGs の国際動向や国内実施、指標、政策の動き等に関する情報提供、情報交換を行います

#### 2) 分科会で、アイデアをアクションへ

分科会による個別課題を掘り下げた検討により、従来の境界線を越えた（業界横断の）基準や目標、そしてアクションを官民連携で創出します

##### 設置が決定している分科会

➢ 金融アセスメントプラットフォーム分科会：金融を中心として国際アセスメント基準を官民一体でつくり国際基準創出を目指す

➢ プラスチック問題分科会：SDGs によるプラスチック利活用のあり方を提言する

\* VSP-S (S 会員) および VSP-D (D 会員)、VSP-LG (自治体会員) は、分科会の設置提案と運営、参加が可能。VSP-G (G 会員) および VSP-SME (中小企業会員) は1分科会まで参加が可能

#### 3) 企業と地方自治体、関係省庁と NGO/NPO とのコラボレーション創出

コンソーシアム・ミーティングや分科会に、企業と地方自治体、オブザーバーとして関係省庁や NGO/NPO が参加することで、パートナーシップ（目標 17）による目標達成を実装します

##### 想定されるパートナーシップ

➢ 内閣府地方創生推進事務局「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」と連携し、官民マッチング後の課題検討を深掘りし、実態を伴うプロジェクトを創出

➢ アジア太平洋パートナーシップガイドライン（国連アジア太平洋経済社会委員会と国連大学サステナビリティ高等研究所 GSD プロジェクト（プロジェクトマネージャー：蟹江憲史）の共同研究成果）の改定版に成果をインプット

#### 4) コンソーシアム相談会の開催

アクション創出へ向けたアドバイスの実施をいたします

\* VSP-S (S 会員) および VSP-D (D 会員) が対象

#### 5) シンポジウム等の開催

\* VSP-S (S 会員) が対象

## 6) 年次報告会の開催

## 7) 年次報告書の公表

## 8) 「SDGs 白書」の刊行

## 9) その他の媒体による発信：例；朝日新聞未来メディア 2030 での発信、など

以上に加え、学生との協働（寄付講座設置（別途お申し込み）、授業との連動など）の機会も検討いたします

\* 全研究期間をつうじた活動による

### ■ 成果

- ・ 年次報告会の開催（VSP-S（S 会員）および VSP-D（D 会員）、VSP-LG（自治体会員）による報告、など）
- ・ 年次報告書の発行（メンバー、VSP-S（S 会員）および VSP-D（D 会員）、VSP-LG（自治体会員）を中心に分担執筆）
- ・ 「SDGs 白書」の刊行（メンバー、VSP-S（S 会員）および VSP-D（D 会員）、VSP-LG（自治体会員）を中心に分担執筆）
  - 優良事例を中心に「SDGs のいま」を発信
  - 「SDGs 的出版」を予定（協力：インプレス R&D 社）
- ・ 各分科会による成果
  - 分野別 SDGs ガイドライン
  - SDGs 的認証基準
  - 分野別ターゲット など
- ・ 国連による「持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム（High-level Political Forum on Sustainable Development；HLPF）における、xSDG・ラボおよび xSDG コンソーシアム主催による公開イベントをニューヨークで開催（2019 年予定）
- ・ シンポジウム等の開催（VSP-S（S 会員）による）

\* 全研究期間をつうじた活動による

### ■ 研究期間（予定）

全研究期間：2018 年 6 月–2021 年 3 月

2019 年度研究期間：2019 年 4 月–2020 年 3 月

### ■ 2019 年度活動計画（予定）

- ・ コンソーシアム・ミーティング
  - 年 3 回程度、都内にて開催
- ・ 年次報告会
  - 年 1 回、都内にて開催
- ・ 「年次報告書」発行
- ・ コンソーシアム・相談会開催
- ・ 各分科会活動
- ・ デジタル・プラットフォームの提供
  - 会員メーリングリストへのご参加
  - ニュースレターの配信による電子媒体での情報提供
- ・ SFC Open Research Forum\*や外部イベント（シンポジウム等）への参加
  - \* <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/orf/orf.html>

### ■ 対象となる VSP（会員）

- ・ 慶應義塾大学 SFC 研究所との連携により、SDGs の優良事例創出を考える企業、組織団体
- ・ 慶應義塾大学 SFC 研究所との連携により、SDGs の優良事例創出を考える自治体

■ Vision Sharing Partner 制度（会員制度）

xSDG コンソーシアムは、SFC 研究コンソーシアム (<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/activity/consortium.html>) として実施される共同研究（年会費制）の一種となり、会員種別は次のとおりです。xSDG コンソーシアムでは、未来に向けたビジョンを共有し、協働する仲間として、会員の呼称を「Vision Sharing Partner(VSP)」としています。詳細は、事務局までお問い合わせください

■ SFC メンバー

蟹江 憲史（政策・メディア研究科教授）  
代表、統括

植原 啓介（環境情報学部准教授）

ICT と SDGs

加藤 文俊（環境情報学部教授）

地域活性と SDGs

川本 充（政策・メディア研究科特任講師）

企業と SDGs

国谷 裕子（政策・メディア研究科特任教授）

SDGs の実施、ラボの研究成果発信、情報発信

佐久間 信哉（政策・メディア研究科特任教授）

地方自治体と SDGs

田中 浩也（環境情報学部教授、SFC 研究所所長）

デジタルファブリケーションと SDGs

玉村 雅敏（総合政策学部教授）

地域活性と SDGs

寺田 好秀（政策・メディア研究科研究員）

企業と SDGs

高木 超（蟹江研究室研究員）

地方自治体と SDGs

村井 純（政策・メディア研究科委員長、環境情報学部教授）

IoT と SDGs

吉崎 仁志（環境情報学部准教授）

指標と SDGs

（学外協力者）

川廷 昌弘（グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン  
SDGs タスクフォースリーダー）

関係省庁、その他ステークホルダー

慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ, xSDG コンソーシアム  
2018 年度 活動報告会

2018 年度に本格的活動を開始した企業や自治体との、SDGs を巡る共同研究活動の成果を報告します。日本から世界に発信する優良事例創出へ向けた一端をご披露いたします。

日時：2019 年 2 月 26 日（火） 9:30-11:00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス 北館 1 階ホール

108-8345 東京都港区三田 2-15-45

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

詳細・お申し込み：<http://xsdg.jp/publicmeeting20190226.html>

（お問い合わせ先） 慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ事務局  
252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322 E-mail: [xsdg@sfc.keio.ac.jp](mailto:xsdg@sfc.keio.ac.jp)

(20190207)